

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が1例(30歳代男性)あり、症状は腹痛、水様性下痢、血便です。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は8例となりました。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が2例(80歳代男性及び50歳代女性)ありました。いずれも感染地域は国内、感染経路は飛沫・飛沫核です。本年の累積報告数は47例となりました。

- ・ **梅毒**の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は梅毒性バラ疹です。感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は30例となりました。

梅毒は早期の薬物治療で完治できますが、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置すると、脳や心臓に重い合併症を引き起こす危険があります。感染予防のために、性行為時にはコンドーム等を適切に使用しましょう。性器や口腔周囲に異変を感じたら、性行為を控え、速やかに医療機関に相談し、早期発見・早期治療することが重要です。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を匿名で実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

- ・ **百日咳**の報告が2例(10歳代男性及び女性)あり、症状は持続する咳、夜間の咳き込み、スタックート、嘔吐等です。いずれも感染地域は国内、感染経路は家族内です。本年の累積報告数は41例となりました。

◆ 今週のトピックス:＜手足口病＞

手足口病の定点当たり報告数は、京都市が3.00、全国が2.79で、第19週以降4週連続して増加していることに加え、全国で第20週以降、京都市では第22週以降過去5年平均を上回る状態が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ **二類:結核 2例**(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし【1月以降の累積報告数 130例(肺結核 54例, その他結核 32例, 潜在性結核感染者 44例)うち喀痰塗抹陽性 27例】
- ・ **三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ **五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例**【1月以降の累積報告数 47例】
- ・ **五類:梅毒 1例**【1月以降の累積報告数 30例】
- ・ **五類:百日咳 2例**【1月以降の累積報告数 41例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1. 03	71
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5. 72	246
	② 手足口病	3. 00	129
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 58	68
	④ 伝染性紅斑	0. 86	37
	⑤ 咽頭結膜熱	0. 42	18
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 42	18
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:＜手足口病＞

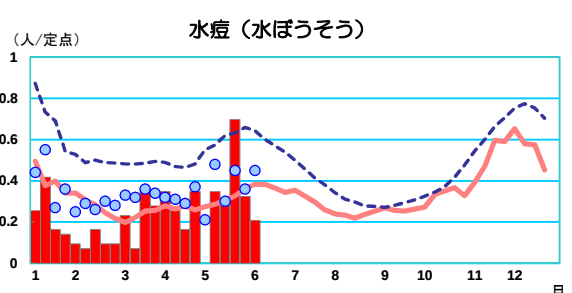
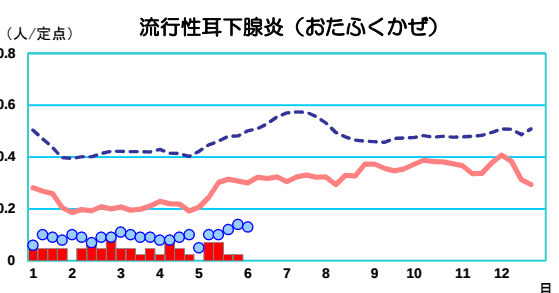
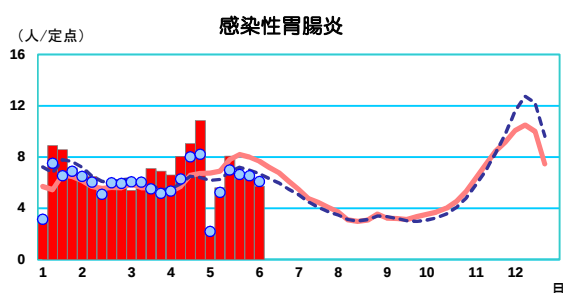
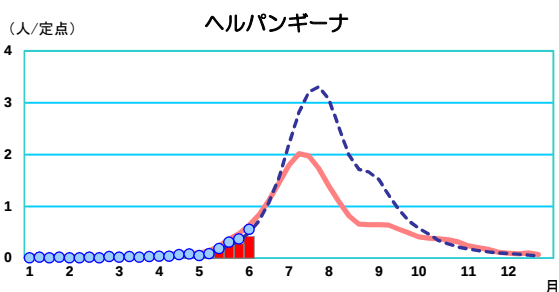
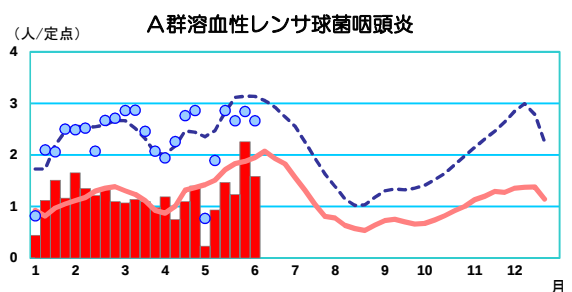
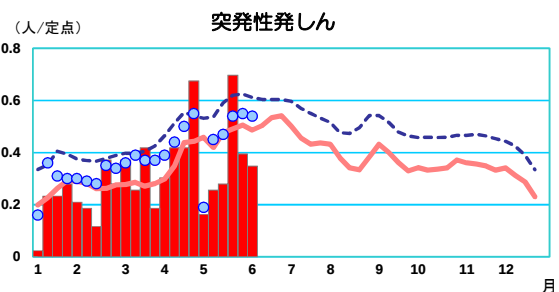
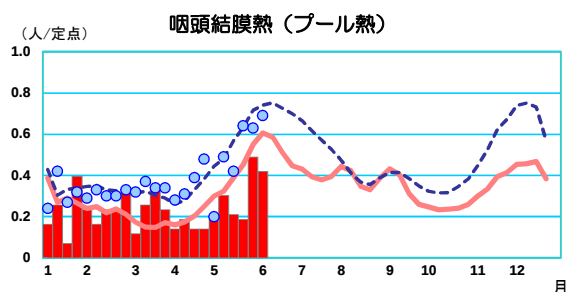
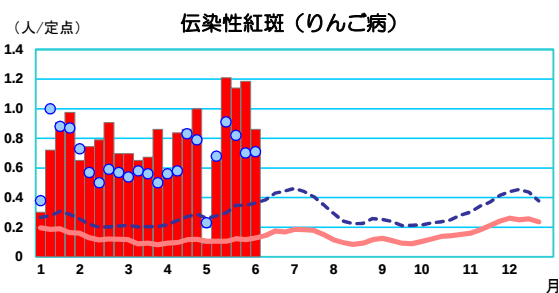
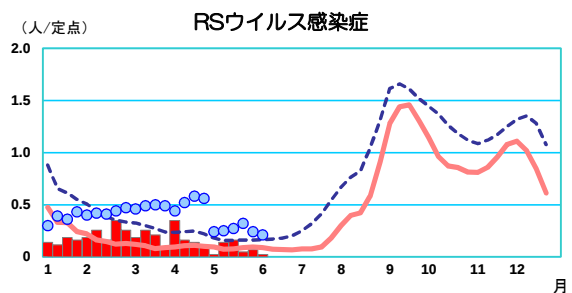
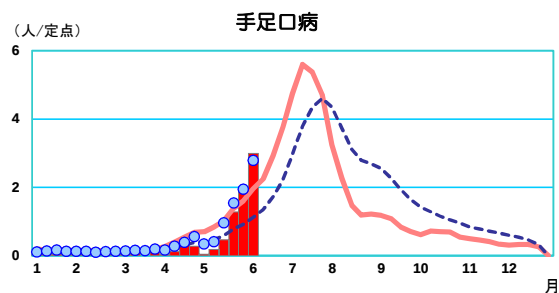
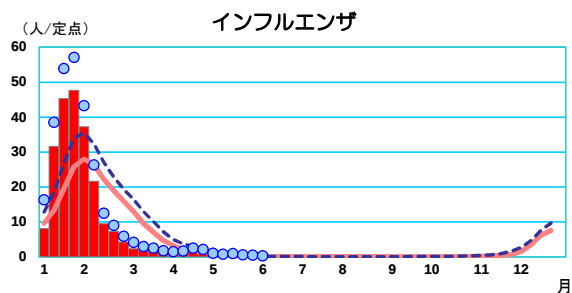
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年6月12日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第23週(6月3日～6月9日)トピックス: <手足口病>

手足口病の定点当たり報告数は、京都市が3.00、全国が2.79で、第19週以降4週連続して増加していることに加え、全国で第20週以降、京都市では第22週以降過去5年平均を上回る状態が続いています(図1)。

京都市の各行政区の定点あたり報告数を見ると、右京区、伏見区で警報開始基準値である「5」を超えています。(図2)。

手足口病の原因となるウイルスは、コクサッキーA6型及びA16型、エンテロウイルス71型など数種類あり、毎年異なった割合で検出されます。全国的に流行した2011年、2013年、2015年及び2017年はコクサッキーA6型の検出割合が多い傾向にありました。本年は本格的流行期前で、まだ報告数が少ないものの、コクサッキーA6型の割合が多くなっています(図3)。大流行の年と同じ傾向が見られるため、今後十分な警戒が必要と考えられます。

京都市では、手洗い方法や手足口病のリーフレットを作成しています。下記URLより入手できます。印刷して掲示するなど、是非ご利用ください。

○京都市衛生環境研究所ホームページ「手洗いの方法」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

○こどもの感染症リーフレット「手足口病」(衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/teashikutibyout.pdf>

図1 京都市と全国の流行状況

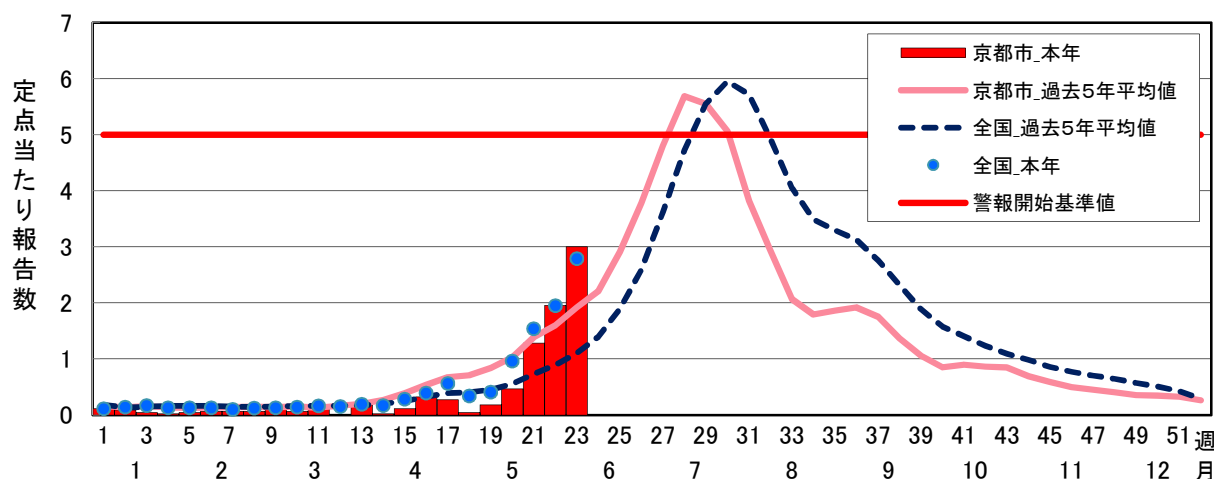


図2 京都市の行政区別定点あたり報告数の推移

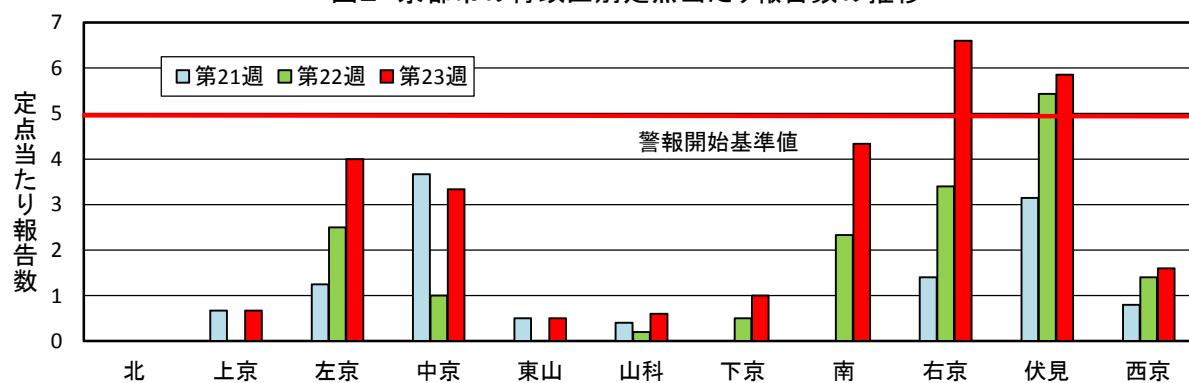
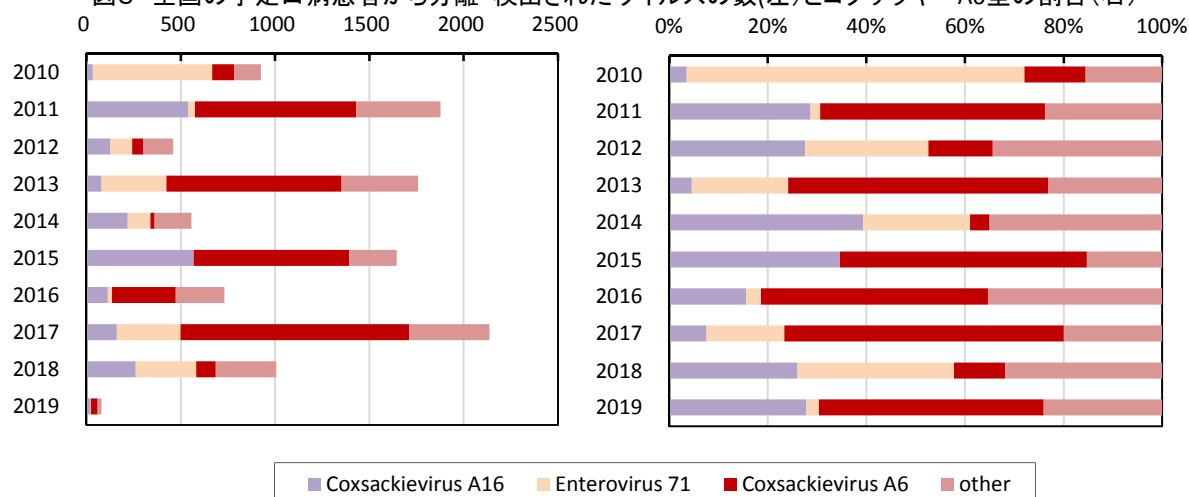


図3 全国の手足口病患者から分離・検出されたウイルスの数(左)とコクサッキーA6型の割合(右)



京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:2019年第23週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年6月3日～2019年6月9日

データ入手日:2019年6月12日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	71	－	1	1	－	1	2	11	2	9	9	3	16	2	4	7	1	－	－	－	2
RSウイルス感染症	年齢3	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		18	－	1	9	6	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		68	－	1	1	2	5	12	10	13	7	6	4	7	－	－						
感染性胃腸炎		246	3	16	35	30	37	28	18	12	8	11	8	15	1	24						
水 痘		9	－	－	－	1	－	2	－	4	1	1	－	－	－	－						
手 足 口 病		129	2	25	64	26	5	3	2	－	－	－	1	－	－	1						
伝 染 性 紅 斑		37	1	2	1	1	3	2	1	6	4	7	2	3	－	4						
突発性発しん		15	－	5	7	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		18	－	1	5	7	3	－	－	1	－	－	－	－	－	1						
流行性耳下腺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	1.03	－	0.01	0.01	－	0.01	0.03	0.16	0.03	0.13	0.13	0.04	0.23	0.03	0.06	0.10	0.01	－	－	－	0.03
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.42	－	0.02	0.21	0.14	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.58	－	0.02	0.02	0.05	0.12	0.28	0.23	0.30	0.16	0.14	0.09	0.16	－	－						
感染性胃腸炎		5.72	0.07	0.37	0.81	0.70	0.86	0.65	0.42	0.28	0.19	0.26	0.19	0.35	0.02	0.56						
水 痘		0.21	－	－	－	0.02	－	0.05	－	0.09	0.02	0.02	－	－	－	－						
手 足 口 病		3.00	0.05	0.58	1.49	0.60	0.12	0.07	0.05	－	－	－	0.02	－	－	0.02						
伝 染 性 紅 斑		0.86	0.02	0.05	0.02	0.02	0.07	0.05	0.02	0.14	0.09	0.16	0.05	0.07	－	0.09						
突発性発しん		0.35	－	0.12	0.16	0.07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.42	－	0.02	0.12	0.16	0.07	－	－	0.02	－	－	－	－	－	0.02						
流行性耳下腺炎			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	0.10	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		1.00	－	－	－	－	－	1.00	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第23週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年6月12日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		40	65	90	48	89	71
RSウイルス感染症		1	6	7	2	3	1
咽 頭 結 膜 熱		8	13	9	8	21	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	40	63	53	97	68
感染性胃腸炎		101	241	347	271	276	246
水 痘		－	15	12	30	14	9
手 足 口 病		2	8	20	55	84	129
伝 染 性 紅 斑		4	28	52	49	51	37
突発性発しん		7	11	12	30	17	15
ヘルパンギーナ		－	3	8	11	12	18
流行性耳下腺炎		－	3	3	1	1	－
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	2	2	2	5	2
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	1
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		173	435	625	560	670	615

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.58	0.94	1.30	0.70	1.29	1.03
RSウイルス感染症		0.02	0.14	0.16	0.05	0.07	0.02
咽 頭 結 膜 熱		0.19	0.30	0.21	0.19	0.49	0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.23	0.93	1.47	1.23	2.26	1.58
感染性胃腸炎		2.35	5.60	8.07	6.30	6.42	5.72
水 痘		－	0.35	0.28	0.70	0.33	0.21
手 足 口 病		0.05	0.19	0.47	1.28	1.95	3.00
伝 染 性 紅 斑		0.09	0.65	1.21	1.14	1.19	0.86
突発性発しん		0.16	0.26	0.28	0.70	0.40	0.35
ヘルパンギーナ		－	0.07	0.19	0.26	0.28	0.42
流行性耳下腺炎		－	0.07	0.07	0.02	0.02	－
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	0.20	0.20	0.20	0.50	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	1.00
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		3.67	9.70	13.90	12.76	15.19	14.81

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。